

ECC ジュニアカップ県選手権大会における感染防止対策

岡山県小学生バレーボール連盟

主催者、参加者、全員協力して大会を成功させよう！

《主催者》

1 消毒剤等の準備

- ①会場入り口、アリーナ入り口、トイレ、洗面所には、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ②会場内のドアノブ、テーブル、イス、ロッカーの取手等、参加者が触れると考えられる箇所のこまめな消毒をする。**(ベンチ、応援席、トイレはチームの協力を得る。)**
- ③試合間には、ボール、ベンチのイス、記録席の消毒もする。

2 換気の悪い密閉空間とならない環境作り

- ・換気扇は常に回し、定期的に窓を開け、外気を入れる等の換気を行う。
- ・**更衣室の使用にあたっては、一度に大勢が入室することがないように密集回避を促す。**

3 参加者の制限

- ①入場は役員、大会関係者、ベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援団**(1チーム12人以内)**に制限する。
- ②参加者名簿の提出を義務付ける。
- ③**入場者には名札(チーム名と名前を記入)を常時身につけさせる。(※選手は付けない)**

4 当日の運営

- ①タイムテーブル、**入館可能時刻**に従いチームを入場させ、会場内の密を避ける。**常に、試合をするチームと補助員チームのみ入場している状態とする。入館までは、熱中症対策としても、車内で待機する。(第1日目)**
- ②受付時の対応
 - ・受付は対面では行わない。
 - ・参加者が距離を置いて並べるよう目印をつける。
 - ・各チームがあらかじめ用意した参加者名簿と個別健康調査票を受理する。
 - ・再入場時には名前をチェックする。入り口には常時、担当者を配置する。
- ③試合前後の挨拶
 - ・エンドライン後方に密にならないよう整列し、その場で挨拶をする。
(両手間隔で前後2列)
- ④応援席等の管理
 - ・応援席が密にならないようあらかじめ観客席の数を減らす。(座れない席の表示)
 - ・定期的に会場内を巡回して、感染防止対策がきちんとはとられているか確認する。
(3密、マスク着用、応援の仕方、手指消毒実施など)

⑤密にならないベンチ設営等

・ベンチのイスの間隔も約2メートルとする。

第1日目、2日目ともにイスは3脚とする。

・ウォームアップエリア内に個別に用意した水筒とタオル、マスクを入れた袋またはカゴを置く。

⑥第2日目 開・閉会式

・開会式は、入場行進はなしとし、開・閉会式とも密を避けた位置取りで行う。

《参加者》

1 受付時、参加者名簿と個別健康調査票を提出する。

(どちらもベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援団全員分)

2 マスクを着用、名札をつけることを徹底する。

・プレー以外の場面ではマスクを着用する。ただし、息苦しくなった場合は外して良い。

・名札はチーム名と名前を記入し、プレー中以外は常時、身につける。

3 こまめな手洗い、手指消毒をする。

4 3密を避ける。

① 応援は隣との距離（できるだけ2メートル）を確保すること。また、鳴り物は禁止し、声を出して応援しないこと。（拍手のみ）

②勝ち残って次の試合まで待機している場合や補助員チームで待機している場合は、密集・密接を避け、大きな声で話をしない。（指定された待機場所を使用する。）

③試合前後のミーティングも3密を避ける。

5 ベンチスタッフ

①試合中、マスクをし、大きな声で指導しない。

②タイムアウトやセット間での指導者の話は、身体的な距離を保つ。

③試合終了後、ベンチのイスを消毒する。

6 使用した施設を消毒する。

①使用した応援席のイスや手すり、試合が終了して、次のチームと入れ替わる前に持参した消毒剤で消毒をする。

②試合終了後、両チームでトイレの消毒をする。（ドアノブ、手洗い場、便器レバー、プッシュボタン等）

7 感染防止策の遵守

① 大会実行委員会が決めた措置を遵守し、大会実行委員会の指示に従う。

② 大会中、体調が悪くなった者は直ちに帰宅する。

③ 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、県小連総務委員長に速やかに濃厚接触者の有無等を報告する。